

3 年 間 保 存

特定自主検査記録表

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明書発行日 H29 年 5 月 19 日 様式 SR-GR-01-D

証明書発行 No. 5-26 標章 No. 1088 793

メーカー名	ヤマト建機	管理番号	ST-021	使用者住所氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社
型 式	C12R-B	製造年月又は製造番号	年 月 26308C	機械管理者氏名	町田 宗才
性 能	最大積載量 990 kg	アワメーター	2 h	検査業者登録番号	第 1 7 号
検査場所	町田機工(株)中城	検査者氏名	西本 一	検査業者又は事業者住所・名称責任者名	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 又吉 小悟
検査年月日	H29 年 5 月 19 日	検査者氏名	西本 一	検査業者又は事業者住所・名称責任者名	責任者 マチダテクノ(株) 又吉 小悟

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補修 内容
エンジン	1	本 体	★ a 始動性 かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動 ★ b 回転の状態 アクセルの作動、回転具合 アイドリング回転(800 min ⁻¹)、無負荷最高回転(2150 min ⁻¹) ★ c 排気の状態 排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ ★ d エアクリナー ケースのき裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量 ★ e 締付け シリンダーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み ★ f 弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) ★ g 圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ h 噴射圧力 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ★ i 噴霧状態 噴霧状態 良○・不良× 1 2 3 4 5 6 ★ j 過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ ★ k エンジンマウント ブラケットのき裂・変形・緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、聴診 トルクレンチ シックネスゲージ 圧縮圧力計 ノズルテスター 目視、ノズルテスター	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	不良 不良 不良 不良 不良 不良 不良 不良 不良 不良
	2	潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、*エレメントの汚れ・*損傷	目視	✓	
	3	燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老化、*エレメントの汚れ・*詰まり	目視	✓	
	4	高圧ガス噴射装置 [ガソリン]	ガス漏れ、導管等のき裂、損傷、ボンベ・クランプの取付・損傷	目視	—	—
	5	ブローバイガス還元装置 [ガソリン]	バルブ作動、バルブ・配管の詰まり・損傷	目視、操作	—	—
	6	冷却装置	水量・汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老化、ラジエーターバルブ機能・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、ファン・カバー・ダクト等のき裂・損傷・変形・取付	目視、スケール	✓	—
	7	点火装置 [ガソリン]	ディストリビューターキャップき裂、コードはめ合い、端子摩耗・焼損、ブレーカー等の接触面焼損・突起、電極・碍子の汚れ・焼損・破損、Trユニット取付・損傷・端子緩み、点火時期	目視、タイミングライト	—	—
	8	電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、聴診、電流電圧計	✓	—
	9	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク凝水、作動	目視、操作、聴診	—	—
	10					
動力伝達装置	11	主クラッチ、ペダル、ケース、イナーシャブレイキ	異音、作動、ペダル作動・遊び・床板とのすき間、ケース油量・汚れ、油漏れ、ブレーキ作動	目視、聴診、スケール、操作	✓	—
	12	駆動用ベルト	ベルトたわみ、損傷、汚れ	目視、スケール	—	—
	13	カップリング	連結部の取付・損傷、ゴム変形・劣化・がた	目視	—	—
	14	ユニバーサルジョイント	異音、振動、曲がり、摩耗、損傷、がた、連結部の取付・損傷	目視、聴診	—	—
	15	トランスミッション	作動、レバー抜け、異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診、触診	—	—
	16	操向クラッチ	作動、異音、レバー遊び・引きしろ、リンク等のがた、ピンさび付き、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診、触診	—	—
	17	ファイナルドライブ	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	—	—
	18	HSTの走行減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ	目視、操作、聴診、触診	✓	—
	19	車軸ケース [ホイール]	異音、き裂、損傷、変形、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、聴診	—	—
走行装置	20	起動輪、遊動輪	き裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	✓	—
	21	上部ローラー、下部ローラー	き裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ、ブラケット作動	目視、聴診、触診、探傷器	✓	—
	22	履 帯	シュー(き裂・変形・摩耗)、ボルト・ナット取付、リンク・ブッシュ(き裂・摩耗)、ピッチ長、たわみ、ピン抜け出し	目視、スケール	—	—
	23	ゴム履帯	スチールコード切断・損傷、ゴムの欠け・老化・摩耗、心金脱落、張力	目視、スケール	✓	—
	24	履帯調整装置	作動、調整ボルト等のき裂・変形・腐食・摩耗・油漏れ	目視、操作、探傷器	✓	—
	25	トラックフレーム	き裂、変形・損傷、しゅう動部摩耗、取付	目視、探傷器	✓	—
	26	ホイール (タイヤ)	空気圧、き裂、損傷、偏摩耗、溝深さ、異物、取付、リム等のき裂・損傷・変形、ベアリング部のがた・異音・異常発熱	目視、聴診、触診 タイヤゲージ、スケール	—	—

(不許複製)

(社)建設荷役車両安全技術協会作成

3年間保存

ST-021

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
操作	27	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作	✓	
制動装置	28	走行ブレーキ	ペダル遊び、床面とのすき間、効き	目視、操作、スケール	✓	
	29	駐車ブレーキ	レバー引きしろ・引き具合、効き、ラチェット下部損傷・摩耗	目視、操作	✓	
	30	ロッド、リンク、ケーブル類	損傷、クランプ緩み、連結部緩み、がた、割れ、ピン欠損	目視	✓	
	31	ペダルロック【クローラ】	ロック状態、ブレーキ効き、損傷、摩耗	目視、操作	✓	
	32					
荷台	33	荷台	作動、ゲートの開閉・ロック、き裂、変形、摩耗、取付、ピン部がた	目視、操作	✓	
	34					
油圧装置	35	作動油タンク	油漏れ、エス漏れ、*油量、汚れ、ブザー目詰まり、取付	目視、石けん水	✓	
	36	フィルター	*エレメント汚れ・損傷、油漏れ	目視	✓	
	37	配管	き裂、損傷、老化、ねじれ、油漏れ、取付	目視	✓	
	38	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、*吐出量、*吐出圧力	目視、聴診、触診、テスター	✓	
	39	HST用ポンプ付属弁	作動、油漏れ	目視、操作	✓	
	40	油圧モーター	作動、油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、操作	✓	
	41	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打点、き裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール	✓	
	42	各種弁	作動、油漏れ、方向制御弁取付、電磁弁異音・異常発熱	目視、操作	✓	
	43	オイルクーラー	油漏れ、目詰まり、パイプ変形・破損、油漏れ、ベルトのき裂・損傷、摩耗、モーターの異音・異常振動・異常発熱	目視、聴診、触診、スケール	✓	
	44					
安全装置・車体関係等	45	車枠、車体	き裂、変形、取付	目視	✓	
	46	旋回フレーム、ブラケット	き裂、変形、取付	目視	—	—
	47	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、*ギヤき裂・*摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	—	—
	48	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	—	—
	49	キャブ、カバー	き裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等の開閉、ロックキー作動、ガラスのがた・破損	目視、操作	✓	
	50	座席	座席調整、ロック作動、取付	目視、操作	✓	
	51	昇降設備、滑り止め	き裂、損傷、変形、取付	目視	✓	
	52	表示板	損傷、取付	目視	✓	
	53	燈火装置、警告器、方向指示器等	作動、取付、レンズの破損・浸水	目視、操作	✓	
	54	計器類	作動	目視	✓	
	55	後写鏡、反射鏡	汚れ、損傷、写影	目視	✓	
	56	レバーロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓	
	57	荷台降下防止装置	取付、曲がり、変形、き裂、損傷	目視、探傷器	✓	
	58	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓	
	59					
総合	60	総合テスト	作動、異音、異常振動、異常発熱	操作、聴診、触診	✓	
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	—	—
事業者等への等	次回特定自主検査実施年月 431年5月					
	使用前は保安点検を行って下さい					
補修等の措置内容						
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補修実施内容		
1	エレメントの汚れ		429.5.19	エレメント清掃		
6	冷却水不足		429.5.19	冷却水補充		
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★及び★★印は、安衛法上及び建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づき決められている検査項目であるが、そのうち★★印は同指針にのみ基づく検査項目である。 6. No.の網掛け項目は、定期自主検査指針の公表後において新たに装備されたものであり、追加検査項目とした。					
	記号	交換	修理	調整	締付	清掃
	X	△	A	T	C	L
						該当なし